

公益社団法人 全日本鍼灸学会 東北支部通信No.20

認定指定AB講座（ハイブリット）開催報告

令和5年6月4日（日）に、岩手県盛岡市 マリオス 181会議室にて、認定指定 AB 講座を開催いたしました。朝は小雨模様で肌寒さを感じましたが、日が昇るとともに雲間からお日さまが差し、空には虹がかかり、18階の会場からは雄大な岩手山を眺めることができました。景観にも恵まれた会場には東北以外の方々やリモート参加の方々も含め、60名を超える方々にご参加いただきました。

特別講演Ⅰ つながりで生きる鍼灸

筑波技術大学保健科学部保健学科 鍼灸学専攻 教授

鮎澤 聡 先生



西洋医学的な悪いものを取り除くといった考え方に対し鍼灸手技治療は調和を大事に考え、治癒力に対しアプローチをはかり、命や生命活動といった機能に働きかける医療としてのすばらしさがあるとお話いただきました。触れ合う手当には、術者と患者が相互創出しお互いに情報交換しながら、身体の不具合を調和させ、治るきっかけを与え、生体の秩序を取り戻させることができる、鍼灸手技治療にはこのような点で重要な役割を持っているとお話になり鍼灸師として気持ちが奮い立つ思いがいたしました。そのためにもふとした患者様の様子に着目し共感する等、日々感性を磨くことの大切さも再認識いたしました。

特別講演Ⅱ 頭痛と鍼灸

特別講演Ⅲ 頭痛の鍼灸治療

茨城県立医療大学 保健医療学部 医科学センター 助教

石山 すみれ 先生



始めに頭痛について発症のメカニズムから診療に至るまで幅広くご講義いただきました。途中で卒後研修制度についてお話しをされ、石山先生ご自身が研修の道へ進んだ理由や、精力的に取り組まれた研修時代のお話は、進路について悩んでいる学生の方々にとっても刺激になったと思います。そして「現場で見る事が一番の勉強になる」として様々な現場において余白領域（待ち時間の声かけや案内時等）への積極的な関りが、鍼灸師として新たな知識や経験にもつながるというお話は、これからの医療の流れの連続性を追求する新しい idea を頂いた気が致しました。



渡邊 健 先生が、高木賞奨励賞を受賞されました。ささやかながら講座にてお祝いいたしました。渡邊健先生おめでとうございます。

次回は令和5年11月12日（日）仙台国際センターにて学術集会を予定しております。併せまして東北支部創立40周年記念祝賀会も予定しております、多くの方のご参加をお待ちしております。